

7月度・残留農薬分析定期検査の結果(ご報告)

商品本部及び地方店舗の取り扱いの全ての青果物等の食材を対象に、総合科学新潟研究所が24点を指定(品目・産地)して農薬の残留分析を行いました。

★ 残留農薬分析の結果、24点全ての食材が大庄基準(国内基準の1/2以下)以下で、安全な食材であることをご報告致します。

[説明]

庄やグループの店舗で使用する野菜等の食材は、商品本部取り扱いや地方店舗での使用も含めた全てを対象に、新潟研究所が品目・産地を指定して残留農薬分析を行い、安全性を確認致しました。

1 7月の定期調査では、24品目中20点は農薬の残留がありませんでした。

2 微量の残留農薬が検出された品目

(1) “ミニトマト”及び“トマト”は、ともにジエトフェンカルブの検出で、国内の安全基準、大庄基準と比較しても極めて微量の残留であり、安全性が高いと評価される水準です。

(2) “レタス”は0.005ppmの農薬(ブタミホス)検出で、高性能分析機出なければ検出できない微量なものであり、安全性には全く問題の無い水準です。

(3) “にら”は複数の農薬を確認いたしましたが、大庄基準以下の微量な水準の残留であり、安全であることを確認致しました。

<参考>

① 微量の農薬を検出した4品目について

- ・ いずれも、極めて微量の農薬検出です。
- ・ 当社の残留農薬分析は、高性能のGC/MS(ガスクロマトグラフ質量分析計)を導入して専門の職員が毎日実施していますので、極めて微量の農薬でも一切見逃すことは無いと自負しております。

(ガスクロマトグラフ質量分析計：GCMS-QP2010 Ultra)

- ・ このため、今までも栽培履歴等との総合的な調査では、前作の野菜に散布した農薬や隣接圃場等からの飛散農薬等も再々検出する状況にあります。

② 庄やグループでは生産者の皆様との連携を深め、可能な限り無農薬や農薬使用を減らすとともに、農薬の飛散等にも十分注意していただいて、残留農薬の無い食材を確保するように努めてまいります。

分析データ 食材の残留農薬分析結果 (平成 26 年 7 月度)

分析 株式会社大庄総合科学新潟研究所

No.	品目名	産地	生産者	検出農薬	分析値 (ppm)	大庄 基準値 (ppm)	国内 基準値 (ppm)
1	レタス	長野	122	ブタミホス	0.005	0.005	0.01
2	キャベツ	群馬	耕人会	検出なし			
3	にら	栃木	615	EPN トルフェンピラド ブタミホス ペンディメタリン	0.01 1 0.02 0.02	0.01 5 0.025 0.025	0.01 10 0.05 0.05
4	じゃがいも	千葉	JA 山武郡市	検出なし			
5	たまねぎ	兵庫	JA あわじ島	検出なし			
6	ミニトマト	青森	469	ジエトフェンカルブ	0.3	2.5	5.0
7	トマト	福島	901	ジエトフェンカルブ	0.1	2.5	5.0
8	きゅうり	栃木	JA なす南	検出なし			
9	なす	埼玉	JA 埼玉みずほ	検出なし			
10	ししとう	千葉	旭愛農生産組合	検出なし			
11	ほうれんそう	群馬	JA 利根沼田	検出なし			
12	まいたけ	群馬	JA たかさき	検出なし			
13	えだまめ	新潟	JA 新潟みらい	検出なし			
14	エリンギ	新潟	榊雪国まいたけ	検出なし			
15	メロン	山形	619	検出なし			
16	こまつな	岐阜	JA にしみの	検出なし			
17	すだち	徳島	JA アグリあなん	検出なし			
18	かぼちゃ	茨城	JA 茨城むつみ	検出なし			
19	もやし	岡山	九州ジージーシー	検出なし			
20	ごぼう	群馬	JA 佐波伊勢崎	検出なし			
21	オクラ	鹿児島	JA いぶすき	検出なし			
22	ながいも	青森	JA ゆうき青森	検出なし			
23	はくさい	長野	JA 全農長野	検出なし			
24	ミニトマト	愛知	JA とよはし	検出なし			

注) ① 生産者名の一部は、都合により生産者番号を記載しております。

② ppm : パーツ・パー・ミリオン(parts per million)の略で、1ppm は、青果物 1kg 当たりに 1mg の農薬が含まれることを示します。